

清流「庄川」の最上流部 大切な水源林で 大規模な産業廃棄物最終処分場の建設計画があります！

1、産業廃棄物最終処分場建設計画の概要

富山県の西部地域を潤す清流「庄川」の最上流部で、産業廃棄物最終処分場を建設する計画があります。事業者から事業を認可する岐阜県に提出された建設計画の概要は、以下の通りです。

- ① 計画場所は、岐阜県高山市荘川町六厩（むまや）地内
- ② 埋め立てる面積は、11ha
- ③ 埋め立てる産業廃棄物の種類は、〔燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、コンクリートくず、金属くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、動物の糞尿、動物の死体、廃石綿、水銀使用製品産業廃棄物等、18品目〕
- ④ 埋め立てる産業廃棄物の総量は、約240万^m₃（東京ドーム2杯分）で埋め立て期間は、26年間

【計画位置図】



2、今回の産廃計画の問題点

(1) 計画場所は産業廃棄物最終処分場の建設に適した場所ではありません。

「庄川」の清流は富山県西部地域の農業用水や水道水として広域的に利用されています。その水源域で「膨大な量の有害物質を埋め立てる計画」は、将来に亘り富山県西部地域の住民に多大な不安感を与えます。

(2) 土石流災害を誘発する恐れがあります。

谷を埋め立てた盛り土は、集中豪雨や大地震により各地で土石流災害を引き起こしています。計画場所は国内有数の豪雨地帯です。産業廃棄物の埋め立て盛り土が崩れ、大規模な土石流災害につながる恐れがあります。

(3) 風評被害の恐れがあります。

清流「庄川」の水源域で、膨大な量の産業廃棄物が埋められていることに対し、風評被害が発生する恐れがあります。地域ブランド力を活かした農産物をはじめ、飲料水や庄川のアユなど、観光・産業にも影響を及ぼしかねません。

このため、関係用水土地改良区では、庄川沿岸の南砺市、砺波市、高岡市、射水市の4市と富山県及び岐阜県知事に対し、上記懸念について要望書を提出しています。また、4市の市議会においても意見書を岐阜県知事に提出しています。

**庄川の清浄で豊かな水は、我々の先祖が大切に守り育んできたものです。
私たちが責任をもって次世代に伝えていく責務があります。**

このチラシは前回2月に発行しておりますが、今回改めて皆様にお知らせするものです。
今後、皆様のご理解とご協力のもと反対署名活動を実施する予定です。
私たち下流住民の思いを届けましょう。